

学校だより 学校評価特集号

平成 26 年 10 月 31 日
京都市立醒泉小学校
校 長 高橋 義弘

『学校教育目標』
～めざす子ども像～

自ら学び お互いを認め高めあおうとする
〈自ら考え 進んで学習する子〉〈思いやりの心をもって 人や物を大切にする子〉
〈心身ともに健康な子〉〈夢をもち 伸び続けようとする子〉

心豊かな醒泉の子

平素は、本校教育にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、6月に実施いたしました平成26年度前期の学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。よりよい教育のあり方を探り、この結果を生かしていきたいと考えております。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

【アンケート集計結果】（実現度の値は、回答の平均値を最高7点のスコアで表示したものです。「保護者アンケート結果の実現度が高い順の表」です。吹き出し内は分析・考察）

質問項目（保護者）	実現度			質問項目（教職員）
	保護者	児童	教職員	
自分を大切に思うことや友達も大切にすることなどお互いの良さを認め仲良くするよう、お子さんに話している	5. 5	5. 5	4. 5	お互いを高め合おうとする学級づくりを進めている
配布物やHPなど、学校からの情報を確認している	5. 5			●「学校や社会のルールを守る」規範意識と言われる項目です。保護者の方・児童とも実現度は高いのですが、教職員の回答は低い結果です。ご家庭においては、子どもたちの心の育成にご支援いただいている結果とありがたく受け止めております。頭では分かっているけれども実際の行動が伴わないことがあるのも事実です。これは、「互いを認め…」の項目にも共通して言えることかもしれません。自分勝手な思いであったり、周りの状況を想像できなかったりすることが原因であるように感じます。起こった事例に対して、自分の行動がどのようなことになるのか、周りの人にどのような影響があるのかをしっかりと考えることができるように時間をかけて取り組んでいきたいと思います。
お子さんは 学校や社会のルールを守っている	5. 4	5. 3	4	
お子さんは、楽しく学校生活を送っている	5. 4	5. 5	4. 5	
お子さんは、外で元気に遊んだり体を動かしたりしている	5. 3	5. 8	4. 6	
お子さんと、学校のことや勉強のことなどいろいろ話をしている	5. 2	5. 2	5. 4	
最後まで粘り強くやり通せるようにお子さんを励ましている	5	5. 2	4. 8	
お子さんは、人への思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で表している	5	5. 3	4. 5	
お子さんに望ましい生活習慣が身に付くように、働きかけたり工夫したりしている	5	5. 2	4. 8	学校での生活習慣や学習規律を身に付ける
学校は、HP・学校だより・学習予定表などで学校の様子を分かりやすく伝えている	5		4. 9	●「家庭と学校が子どものことについて気軽に相談できる」という項目の実現度について保護者と教職員を比較すると、学校が思う以上に保護者の方が相談しにくいと感じられていることがあるのではないかと思います。子どもたちの思いの背景にあるものにしっかりと目を向け、保護者の方がいつでも気軽に相談できる学校でありたいと思います。 ●「祭りザセイセン」「区民運動会」等の地域行事や「安心安全委員会による下校見守り」では、町内や地域の方々に優しく声をかけていただき温かく見守られている子どもたちです。このことを実感するとともにその様子を広くお知らせすることが学校の役割であると考えます。
お子さんは、学習中に発表したり友達と話し合ったりなど、先生や友達と学習することを楽しいと感じている	4. 9	5. 6		
お子さんは 自分から挨拶をしている	4. 9	5. 4	3. 5	
進んで家庭学習や読書ができるように、働きかけたり環境を整えたりしている	4. 7	5. 3	4. 2	
家庭と学校が子どものことについて気軽に相談できる	4. 6		5. 3	
学校・家庭・地域が情報交換し「地域ぐるみ」で子どもを育てようとしている	4. 5		5. 3	
めあてをもって がくしゅうしている（児童）		4. 8	4. 5	めあてを明確にして学習を進めている
がっこうでは じぶんのおみやかんがえを あんしんして はっぴょうできる（児童）		4. 3	3. 4	学習中に自分の思いや考えを表現できる場を設定している
			4. 6	安全で学習しやすい環境づくりをしている